

“仙台空港再生”の第一歩

仙台空港周辺の低平地は、東北地方太平洋沖地震による津波により広範囲にわたって浸水。

周辺は住宅地のほか、仙台空港アクセス鉄道や下水処理施設等の主要施設が浸水していることに加え、行方不明者の搜索活動の促進を図るため、早急な排水が必要。

国土交通省では、排水路等の障害物の除去による自然排水の促進のほか、国土交通省が全国に配備している排水ポンプ車を集め、広範囲の浸水解消を重点的、機動的に実施。



【緊急排水概要】

- ・排水ポンプ車
配備予定台数 20台
(19日時点で15台配備)
- ・排水開始
3月20日(一部は13日から開始)
- ・排水完了予定
燃料の調達状況によるが1週間程度を目途に実施

仙台空港

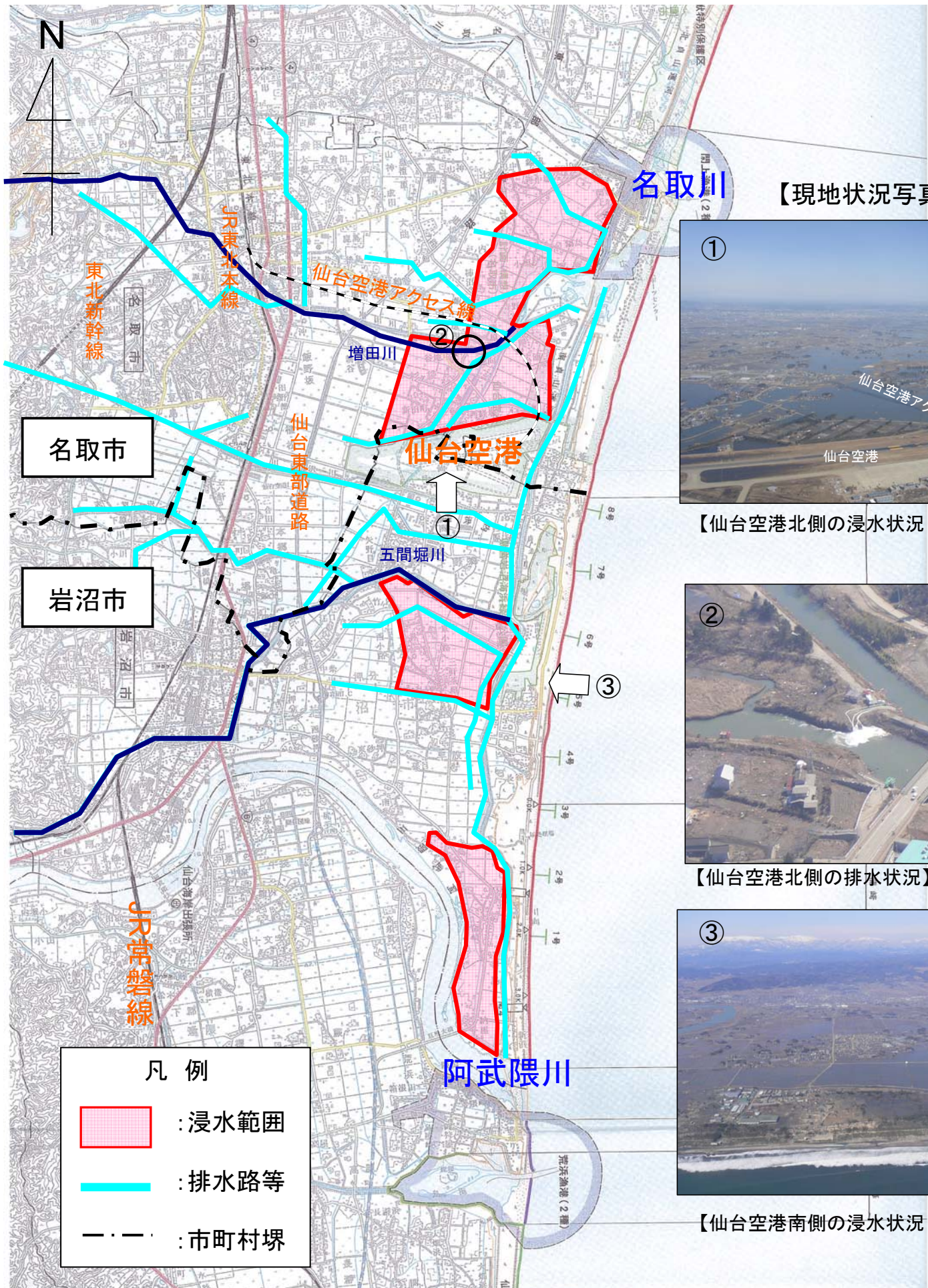
仙台空港アクセス線

一部排水作業中

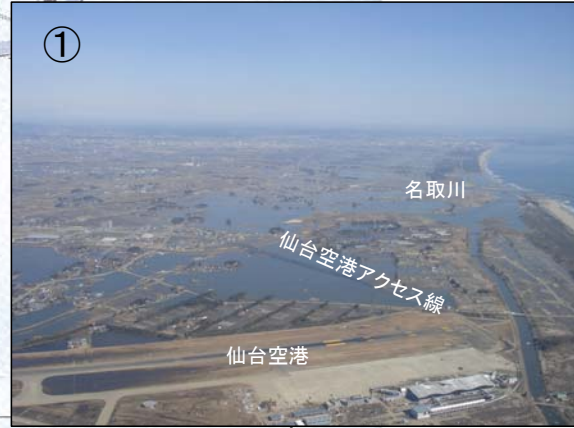
【仙台空港北部の浸水状況】

3月19日撮影

重点排水箇所的位置図(名取市・岩沼市)



【現地状況写真】



【仙台空港北側の浸水状況(名取市)】
▲3月19日撮影



【仙台空港北側の排水状況】
▲3月19日撮影



【仙台空港南側の浸水状況(岩沼市)】
▲3月19日撮影